

2024年度量子ビームサイエンスフェスタ

MLFとの意見交換会

ユーザーからの要望

2024年度MLFユーザアンケート
のコメントから

2025年3月

MLF利用者懇談会

昨年度のMLFシンポでの利用懇からの要望

1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースが必要
(お祈りの場所、オンライン会議)。

実現

2 安全講習の動画は、すべて事前にオンラインで受講できるようにしてほしい。

実現

週末祝日の安全講習は装置担当者なしでも受講できるようにしてほしい。

3: 装置PCとは独立なデータ解析クラスターサーバーが欲しい

4: ドミトリーからのリモート測定を可能にしてほしい。

BLによる？

5: MLF内での荷物の受け取り、発送は可能にならないか。

実現

実現した3点について、説明いただきたい

今回の要望

利用懇の最も強い要望として

ビームの安定供給と迅速な情報発信

ユーザーアンケート

- ・ 中性子源や加速器等の大型設備で頻発するトラブルへの対応とその後のケアがあまりにも酷い
- ・ 加速器が突然停止することがあり、割り当てられた時間内で測定を行わなければならない時には非常に困る。
- ・ 故障が多いと思います。
- ・ 実験ができない状態が半年以上続いており問題がある。
- ・ 社内・取引相手への説明に苦勞しており、情報発信をしてほしい

施設側が全力を尽くしているのは十分理解しているが、最近ではトラブルが多く、ユーザーの研究に深刻な事態。

(ユーザー離れ、信用失墜も懸念される)

安定運転と、トラブル時の迅速な情報発信を強くお願いしたい。

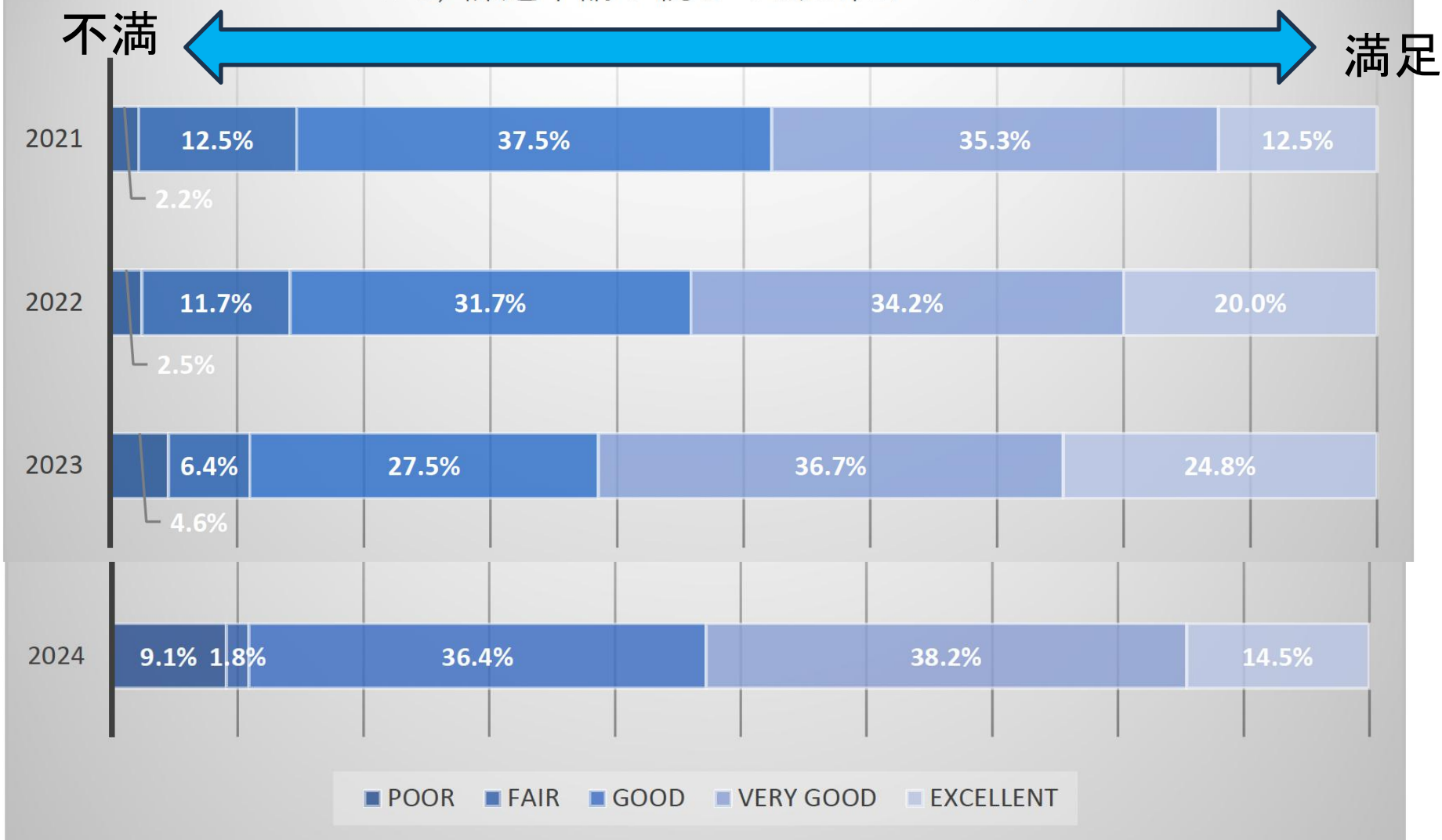
優先してほしい要望

アンケートでの要望を幹事会で検討し、選抜した

- 1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースの**拡充**
(お祈りの場所、秘匿性のオンライン会議)。(継続してのお願い)
- 2: 申請時に、査読者からはずしてほしい研究者を指定できるようにしてほしい
- 3: ビームタイム調整は、希望調査後すみやかに決定するよう各BLに共通な扱いにする。(ユーザーからの日程要望をいいやすい雰囲気を。)
- 4: 申請の選択(非公開、公開)についての適切な情報発信
- 5: ドミトリーでのWifiの拡充(リモート実験の前提として。)

大事なこと: PACの公平性

1-3) 課題申請手続きの公正性について



9割の方がGood以上

分科会： 7～10人
少なくとも1名外国人を

課題審査の流れ

分科会が1課題につき3名のレフリーを選ぶ

のべ約10人の専門
家の目でチェックして、
評点はきまっている。

3レフリーが0～5点で採点

分科会を対面で開催。
全ての課題で、担当委員が、学術的重要性を説明。
その上で、評点とレフリーコメントをすべてチェック。

以下の場合、評点について慎重に議論し、必要があれば修正

明らかに不当な評価・不適切なコメント
一人だけ極端な評点
コメントと評点が整合しない。
コメントが貧弱（要約だけとか）

要望2:査読者からはずすべき研究者を指定

公平性に関するNegativeコメント:

- 委員の中に関係者が含まれている印象があり、公正な立場で審査できる外部委員が少ないように感じられる
- 非常に狭い世界で査読し合っている。申請者がOpposed reviewerを設定できるようにしてほしい
- 厳しいコメントをしたレフリーが1人いると不採択になってしまう。レフリーの数をふやしてほしい。
- レフェリー間の基準を平準化して審査できているのかが不明

施設としての考え・方策をご説明いただきたい。

採択結果への要望

アンケートの要望

○科研費の場合、不採択でも上位何%であったかがわかり、次回申請のモチベーション維持・向上となる。

it would be very much appreciated a comment from the review panel suggesting how to improve the scientific proposal for a future resubmission.

(不採択の場合、申請書のなにがわるかったかアドバイスをいただきたい。)

部分的には実現(ABC, J-Join)していると聞いているが、ご説明いただきたい。

申請前だけでなく、採択されなかった際に装置グループにアドバイスを求めるのが有効？ 採択通知に1文いれては？

優先してほしい要望

- 1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースの拡充
(お祈りの場所、秘匿性のオンライン会議)。(継続してのお願い)
- 2: 申請時に、査読者からはずしてほしい研究者を指定できるようにしてほしい
- 3: ビームタイム調整は、希望調査後すみやかに決定するよう各BLに共通な扱いにする。(ユーザーからの日程要望をいいやすい雰囲気を。)
- 4: 申請の選択(非公開、公開)についての適切な情報発信
- 5: ドミトリーでのWifiの拡充(リモート実験の前提として。)

要望3: 日程（申請、実験）

アンケートのコメント

ビームタイム調整として何か月分も土日を含んだスケジュールを仮押さえられてしまい、かつそのまま1ヶ月単位でホールドされてしまう仕組みが申請のハードルを非常に高くしています。

海外ユーザー it is sometimes difficult to have short notice and tight beamtime period assignement 、especially for the A call for proposals.

ビームタイム調整は、希望調査後すみやかに決定してほしい。
ユーザーの個別の事情に柔軟に対応いただきたい。

優先してほしい要望

- 1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースの拡充
(お祈りの場所、秘匿性のオンライン会議)。(継続してのお願い)
- 2: 申請時に、査読者からはずしてほしい研究者を指定できるようにしてほしい
- 3: ビームタイム調整は、希望調査後すみやかに決定するよう各BLに共通な扱いにする。(ユーザーからの日程要望をいいやすい雰囲気を。)
- 4: 申請の選択(非公開、公開)についての適切な情報発信
- 5: ドミトリーでのWifiの拡充(リモート実験の前提として。)

要望4：申請日程についての対応

アンケートのコメント

A期の課題申請×切が社内の次年度の予算決定よりも3か月以上早く、
予算の見通しがつけにくい

A期(B期)実験結果を踏まえてB期(A期)申請ができる日程にしてほしい。
(実験前に次の申請しめきりがくる)

現在の一般課題以外の選択肢

Fast Track Proposal

利用者から事前にお預かりした試料を装置グループが代わりに測定する課題。

7つのBL

公開 無償

緊急課題

学術的・社会的に重要性が極めて高く、迅速に実施する必要がある課題。

中性子・ミュオン全ビームライン

公開 無償

有償随時課題

学術的・社会的に重要性が極めて高く、迅速に実施する必要がある課題。

中性子・ミュオン全ビームライン

専有 有償

茨城県産業利用課題(BL03, BL20)

産業界の方を対象とした、製品開発等にご利用可能な課題

年8回 1サイクル(約1ヶ月)

これらを適切に利用すれば、解決するのではないか。
ユーザーに適切な情報発信をお願いしたい。

優先してほしい要望

- 1: 静謐かつ区切られたプライベートスペースの拡充
(お祈りの場所、秘匿性のオンライン会議)。(継続してのお願い)
- 2: 申請時に、査読者からはずしてほしい研究者を指定できるようにしてほしい
- 3: ビームタイム調整は、希望調査後すみやかに決定するよう各BLに共通な扱いにする。(ユーザーからの日程要望をいいやすい雰囲気を。)
- 4: 申請の選択(非公開、公開)についての適切な情報発信
- 5: ドミトリーでのWifiの拡充(リモート実験の前提として。)

アンケートで、ドミトリーのWifiの脆弱性の指摘が複数あった。
施設のお考え、方策を説明いただきたい。